学校だより
☆輝き☆
伊達市立星の丘小中学校
第５号
令和7年8月29日

学校教育目標

〈徳〉 やさしく～夢を持ち続ける子の育成
〈知〉 ただしく～自ら進んで学ぶ子の育成
〈体〉 たくましく～最後までやりとげる子の育成

『よいところがあふれる２学期に～２０年後を見据えて～』

校長　福岡　雄司

長い夏休みが終わり、いよいよ２学期が始まりました。夏休み中に経験したこと、日々の生活の中で学んだことを、ぜひ学校生活や日常生活にも生かしてほしいと願っています。とはいえ、今年の夏も北海道でも暑く、屋外での活動が思うようにできなかった日もあったのではないでしょうか。

さて、本校が開校した２０年前、伊達市の８月の１ヶ月の平均気温は２２．４℃、最高気温の平均は２６．５℃でした。その当時は、今のような気温の上昇を想像することもありませんでした。さらに２０年後、私たちの生活はどうなっているのか　―　想像もつかないのは私だけではないと思います。

近年、「２０４５年問題」を唱える人々が注目されています。これは、ＡＩ（人工知能）が進化を続ける中で、２０４５年ごろに人間の知能を完全に超える「シンギュラリティ（技術的特異点）」が訪れるという仮説です。そうなれば、社会のみならず、雇用や人体などにも予測できない影響が及ぶと言われています。ポジティブな面とネガティブな面の両方が想定され、先の読めない時代がやってくるかもしれません。

そのような時代を生きていくためには、テクノロジーを活用する力とともに、自分の強みや個性をしっかりと伸ばし、身につけた「自分のよさ」を生活や仕事の中で発揮していくことがますます重要になると感じます。

始業式では、子どもたちに次のように話しました。

> みなさんにお願いがあります。それは、「よいところ見つけ」をしてほしいということです。
> この２学期の間に、自分の中にある「よいところ」をひとつでも多く見つけてください。そして、それを自信をもって人に話せるようになってほしいと思います。
> また、友だちや先生、そしてバウムハウスの方々など、まわりの人たちのよいところもたくさん見つけて、「すごいね」「いいね」と認め合っていきましょう。
> そのように見つけた「よいところ」を、学校やバウムでの生活の中でどんどん活かして、よいところがあふれる学校にしていきましょう。

２学期は、学習や行事、日々の生活の中で、今までとは違う自分を発見したり、自分の長所を発揮したりする機会がたくさんあります。星の丘小中学校では、さまざまな活動を通して、子どもたちが「自分の力で生きる」ことができるよう教職員一同取り組んでまいります。

２学期も、施設の皆様や地域の皆様のご支援・ご協力を、どうぞよろしくお願い申し上げます。

いじめは絶対に許されない

いじめは、子どもの心に大きな傷となって残ります。学校では、いじめが起こらないように日常の様子を注意して見るだけではなく、「嫌な思いはしていないか」「辛い思いはしていないか」また、「見たり、聞いたりしたことはないか」などのアンケートも実施しています。

アンケートに回答があった場合や本人からの訴えがあった場合には、本人や該当児童生徒に聞き取りを行い、事実確認をし、再発防止に努めています。

今年度６月に実施したアンケートの結果では、小学校で１件、中学校で０件をいじめとして認知しました。それぞれ、指導・観察を継続しております。

今後もいじめは絶対に許されないという共通認識のもと、学校経営の三つの柱の一つである、「他者を尊重し、ともに支える仲間づくり」、「自他の命を大切にする共感的な人間関係」の育成を目指してまいります。

星の丘における「だて学」

伊達市では、各学校が総合的な学習の時間に『だて学』に取り組んでいます。

伊達生まれの子どもが一人もいない本校ですが、伊達市のコンセプトに沿いながら、本校ならではの『だて学』を学んでいます。「それぞれの地元との比較」や「身近な人や家族に伊達のことを伝えられる」こと等を目標に、発表についても重要視して取り組んでいます。

その学習成果は、たくさんの方が見てくださるフェスティバルで発表します。

９月の行事予定

１日（月）	プール学習（小男子）
	巡回小劇場（中）
	小中部会
３日（水）	市教研部会
４日（木）	だて学ミュージアム見学（中）
５日（金）	不審者避難訓練・防犯教室
	児童生徒会
８日（月）	プール学習（小女子）
	小中部会
１０日（水）	巡回小劇場（小）
	中３学力テスト（総合Ａ）
１１日（木）	後期認証式
１２日（金）	児童生徒会（新）
	いのちの学習（小５・６・性教育）
	研修日
１５日（月）	敬老の日
１６日（火）	実務者会議
	栄養教諭授業（中２）
１７日（水）	小中部会
	きつつきの会（小）
１８日（木）	栄養教諭授業（小６、中１）
１９日（金）	職員救急救命講習
２２日（月）	フェスティバル特別日課①
	小中部会　果物狩り（小）
２３日（火）	秋分の日
２４日（水）	成績会議（中）
２５日（木）	栄養教諭授業（中３）
２６日（金）	児童生徒会
２９日（月）	フェスティバル特別日課②
	小中部会

検査結果の活用について

８月 25 日、バウムハウス心理療法士、　　氏を講師にお招きし、児童生徒理解のための学習会を行いました。**「ＷＩＳＣ－Ｖから読み解く子ども理解と支援のヒント」**というテーマで、知能検査から見える子どもの特性の読み取り方や支援のあり方について講義をしていただきました。また、学習会の後半では、バウムハウスの職員の方々も交え、子どもたちとの関わりについて課題に感じていることについてワークショップ形式で意見交流を行いました。限られた時間の中でしたが、意義深い学習会となりました。